

「小児歯科・スペシャルニーズ歯科での 私達の臨床・トランスレーショナル研究」



九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座
小児口腔医学分野 教授

野中 和明 (のなか かずあき)

九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学
分野教授
九州大学病院小児歯科・スペシャルニーズ歯科専門診療科長
日本人類遺伝学会専門指導歯科医師
日本小児歯科学会専門指導医
日本障害者歯科学会指導医
日本外傷歯学会認定指導医

第3次医療機関（特定機能病院）の役割として、地域病診連携の実践に開業歯科医院（小児歯科専門医院も含む）の先生方からご紹介いただきましたお子さまや心身に障がいのある患者さまへの診療奉仕に尽力しています。また同時に九州大学病院の院内連携として、総合周産期母子医療センター、小児医療センターおよび環境発達医学研究センターの運営構成メンバーとして、診療各科と協力・連携しながら総合的な周産期・発達期医療とスペシャルニーズ パーソンへの口腔医療の提供に努めています。

そこでは、“親子とともに病と闘い、親子を支援する”気持ちを尊重しながら、患児(者)さまの基礎疾患・障がい・生活背景を正確に深く理解することから始めます。全身的な背景（基礎疾患・障がい）と口腔顎顔面領域に生じる疾患との関連を解き明かす努力が必要とされます。教室の医療スタッフ皆には、全身管理が必要な大半の患者さまに関して、NICU、産科・婦人科、小児科、小児外科、精神科神経科、子どものこころの診療部、そして歯科麻酔科との綿密な事前情報交換による症例の理解、入院管理も含めた安全を最優先したきめ細やかな対応・配慮が常に必要とされています。毎日の臨床活動での努力精進が皆に求められているところです。

健康な乳歯は永久歯の源。永久歯との交換時期に自然と抜けてしまう乳歯を活用できないかな？

そのような思い出での私たちのトランスレーショナル研究の取り組みを少しだけ紹介させていただきます。そこでは、障がい児・健常児の胎児期から成人に至る口腔領域の健康増進研究を、小児口腔由来の細胞を活用した分子遺伝学、エネルギー代謝学、細胞構造学的解析により遂行中です。子どもたちの乳歯と永久歯を守りながら、その将来に繋げて健康長寿に貢献できる臨床歯科医師であり臨床研究者でありたいと念じているところです。いつもながらに悪戦苦闘しながらも、今日も5名の外国人留学生・研究生の若者達とも一緒に貴重な日々を大切に過ごしております。

(2018年10月21日：第36回日本小児歯科学会九州地方会に於いて)